



千原エイサー保存会  
花城 洸陽さん



## 200年の伝統を誇る 「千原エイサー」を 次世代に引き継ぐ

千原エイサーは約200年前、嘉手納町の千原という地域で士族が日盆の奉納舞踊として始めたのが起源です。戦後その場所は嘉手納飛行場になってしまいましたが、この伝統文化を残すために私の祖父らが中心となって保存会を結成し、今では町の無形民俗文化財に指定されています。私は祖父の影響もあり、幼い頃からエイサーをすることが習慣でしたので、周囲の大人から礼儀作法や地域の歴史を学ぶことができ、町への愛情を自然と抱くようになりました。このような世代を超えた交流を通して、千原エイサーの魅力、引いては町の魅力を子どもたちへつなぎ、広く伝えていきたいと思っています。

Bright people of Kadena

## 嘉手納で

## 輝くあの人



このコーナーでは嘉手納町内で、積極的にまちづくりや活性化に取り組むキーパーソン（人物）にスポットを当て紹介します。「賑わいのある空間を創出します。」

In this corner we focus on the "people" of Kadena. Everyone introduced here take an active role in keeping Kadena town vibrant and a lively place to live.



子どもの安全を  
地域で見守る



交通安全立哨ボランティア  
比嘉 さくらさん

職場が学校の隣ということもあり、子どもが小学校に通い始めた6年ほど前から、自主的に交通安全立哨を始めました。毎朝続けている甲斐あって子どもたちはもちろん保護者同士とつながりができ、協力し合えるようになりました。今では登校時に元気がない子を励ましたり、挨拶したりと「おせっかいおばちゃん」と化しています。嘉手納町には昔から私のようなおばちゃんがたくさんいて、親密なご近所づきあいが現在も残っています。これからも交通安全立哨を通して、子どもたちの安否確認だけでなく、地域一丸となって大人が子どもたちを見守り、育てていけるような親しみのある「まちづくり」に貢献したいです。



3S BURGER&BAKERY  
岩城 達也さん



## テーマパークのような町を 広くPRしていきたい

生まれ育ったのは本土ですが、嘉手納町出身の母の実家に毎年遊びに行っていたので、嘉手納町は第二の故郷といえる場所でした。いつかは住みたいと思っていましたが、キャリアを積むには東京の方がいいだろうとしばらく飲食業に邁進したのち、先に両親が沖縄へ移住したこともあり私も移り住み、店を始めました。嘉手納町は狭い面積ながら公共機関や小売店、飲食店などがコンパクトに凝縮し、住むのはもちろん遊ぶにも便利な町だと感じます。これからは行政の方とも連携し、食事も遊びも楽しめるテーマパークのような嘉手納町を、県内外に積極的にPRしていきたいと考えています。

## 嘉手納町から世界へ！ グローバルな人材育成

海外イベントコーディネーターという前職の経験を活かし、県内で初のプレイキング専門ダンススタジオを立ち上げました。最近では、ダンスに加え、エンターテイナーを目指す子どもたちへ向けたグローバルな人材育成へと幅を広げる傍ら私自身も、町の商工会女性部でも活動させて頂いています。2018年、女性部の先輩方に背中を押して頂き出場した意見主張発表会では、最高賞の県知事賞にも選出されました。これからも、地域の伝統や習慣を尊重しつつ、周りの方にも助けて頂きながら町の魅力を内外へ発信していきたいです。また、オリンピックやエンタメなど嘉手納町から世界へ羽ばたいていけるような人材を輩出したいです。



嘉手納町商工会女性部常任委員  
シアーズ 愛さん

